横浜隼人中学校

YOKOHAMA HAYATO JUNIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2023

心のグローバル化

Chance 1

オンライン英会話

海外にいる外国人講師と1対1で会話する授業を取り入れています。はじめは緊張しがちですが、優しく丁寧なレッスンなので、誰でも楽しく取り組むことでき、英会話スキルが上達します。

Chance 2

豊富な

私たちが目指すのは「心のグローバル化」です。
人が成長するためには「他者」の存在が不可欠。
そして、その「他者」は世界中に存在するのです。

国籍や人種、宗教を越えて
「他者」と繋がることができるコミュニケーションツール、
それが「英語」です。
横浜隼人中学校では、「心のグローバル化」を進めるために、
3つの **Chance** を生徒たちに提供します。

Chance 3

語学研修

各学年で実施する語学研修（詳しくは9ページ）に加え、希望者は3年次の夏休みに3週間、カナダへの短期留学も可能です。コロナ禍でも校内などで代替研修を実施しています。

ネイティブによる個人レッスン

授業以外にもレシテーション課題の発音指導やライティング課題の添削など、休み時間や放課後の時間を使ってネイティブ講師に個別レッスンが受けられます。

横浜隼人の3つの柱　*Three Strategies*

学　力

基本的な知識や技能はもちろん、深く考え知識を活用する力や目標に向けて自ら学ぶ態度を伸ばします。また、話し合いや発表などの言語活動を通して、互いに自分の考えを語り合えるように育てます。

共　生

自分自身の内面を深く見つめ、互いの違いを認め合うことを通して、思いやりの心をもって他者と接する姿勢や、国際社会で通用するコミュニケーション能力を育みます。また、自然環境との共生について考える態度も養います。

健　康

人間が生きていく上で、身体を健康に保つということはとても重要です。本校では適切な運動や食育などを通して、自ら進んで健康に気を配る態度を育みます。また、何事にも前向きに取り組めるような「心の健康」を同時に養います。

横浜隼人中学・高等学校
校　長　　吉野　純三

「必要で信頼される人となる」これが本校の校訓です。将来それぞれの場で重要な役割を担えるよう、本校では何にもまして「人間教育」を最重要課題としています。他人への思いやり、環境への優しさ、差別や偏見のない広い視野、そして困難に打ち勝つ勇気を身につけることこそ新しい時代の扉を開く鍵となります。その鍵で一人ひとりが可能性を無限に広げていくよう心から願っています。

横浜隼人中学・高等学校のあゆみ

昭和	24年	10月	財団法人大谷学園設立
昭和	52年	4月	隼人高等学校設置
昭和	54年	4月	隼人中学校設置
昭和	60年	4月	中学校に女子入学開始
昭和	62年	4月	高等学校に女子入学開始
昭和	63年	3月	本館校舎完成
昭和	63年	4月	高等学校に国際語科開設
平成	2年	8月	国際語科　第1回海外研修開始
平成	4年	7月	普通科　第1回アメリカ夏季短期語学留学開始
平成	4年	10月	隼人中学･高等学校保護者会発足
平成	5年	4月	横浜隼人中学･高等学校と校名変更
平成	6年	5月	国際語科　アメリカ姉妹校への留学制度開始
平成	7年	9月	横浜隼人中学･高等学校同窓会発足
平成	14年	2月	中学校　第1回海外語学研修実施
平成	15年	4月	高等学校に「特別選抜コース」を設置
平成	17年	1月	横浜隼人中学･高等学校後援会発足
平成	27年	11月	新校舎完成
平成	30年	7月	中学校　第1回海外短期留学実施

INDEX

p 1　横浜隼人中学校の目指す「心のグローバル化」
p 3　横浜隼人３つの柱
p 5　横浜隼人の教育　中学・高校の６年間
p 7　学力
p 9　共生　部活動紹介
p 11　健康
p 13　教科・進学・制服
p 15　横浜隼人中学校の１日・年間スケジュール
p 17　高校　普通科
p 19　高校　国際語科
p 21　施設の紹介・Q&A　（よくある質問）

横浜隼人の教育

6年間の教育プログラム

学力

進路を意識した選択科目の
個別指導・補習・講習の徹

知識や技能の活用・応用

基礎・基本の徹底

中学１年

中学２年

中学３年

高校１年

高校２年

高校３

文系進学コース

理系進学

習熟度別授業（

進学コース

普通科

特進コース

特別選抜コース

国際語科

習熟度別授業
英語・数学

発展

応用力の

習熟度別授業
英語・数学

基礎

基礎学力の定着及び
充実・個性の発見

救急救命

防災減災教室

英語研修

食育講座

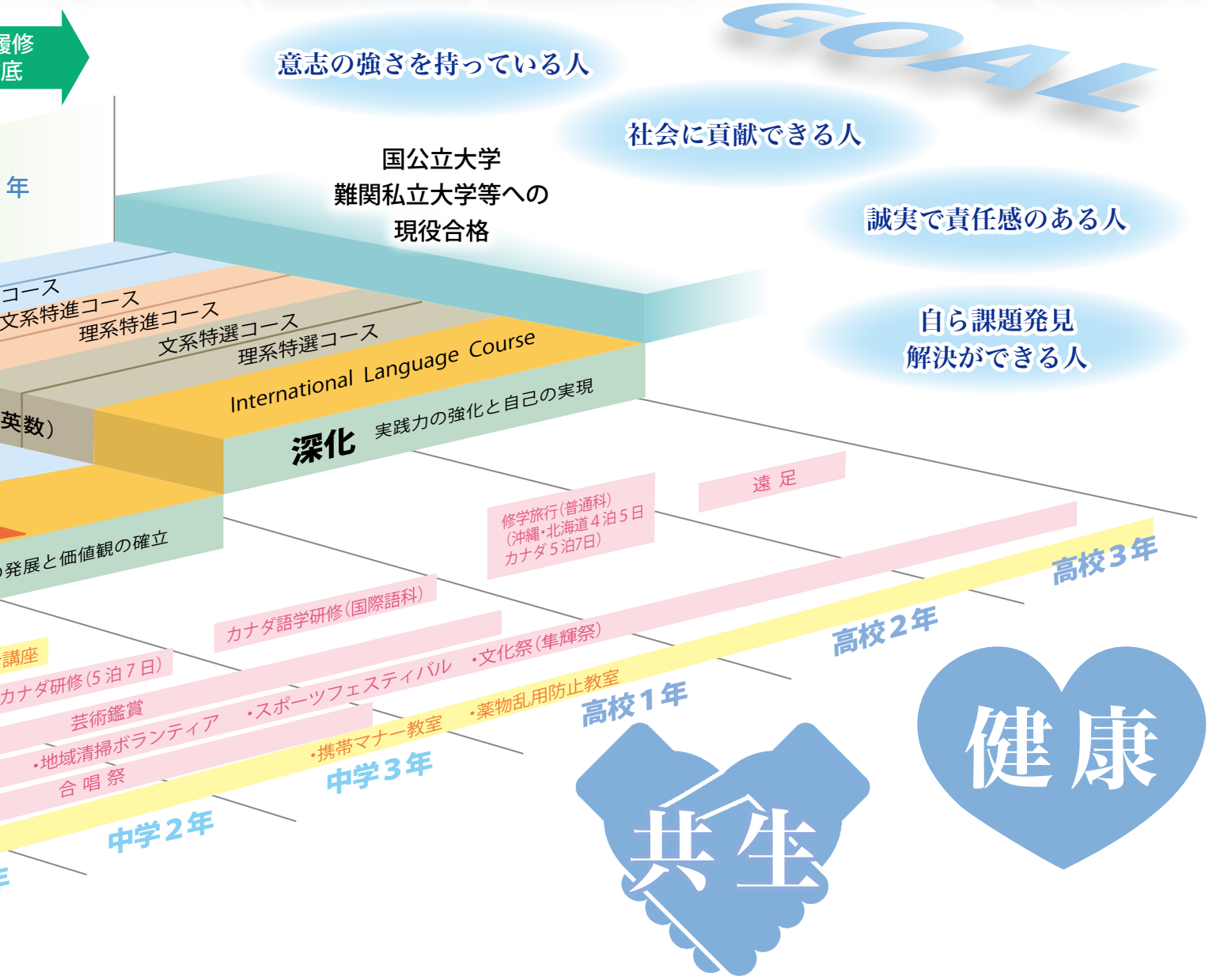
宿泊研修（３泊４日）

中学１年

START

横浜隼人のめざす教育

国内はもちろん、国際社会において「必要で信頼される人」として活躍できる人材を育成する



学力の充実

授業の主役は、生徒たちです。
生徒が主体的に学習できる授業を展開します。

横浜隼人中学校の授業

本校では常に「生徒が主体的に学ぶことが出来る」ことを意識して授業を展開しています。その際、有効となる手段として「アクティブラーニング」が挙げられます。このアクティブラーニングを用いて、学力の三観点である「知識技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に取り組む態度」を育成していきます。

基礎的・基本的な知識・技能

学力を向上させる上で、思考の土台となる「基礎・基本」を定着させることがまず大切です。朝の自主補習や放課後の個別指導など、それぞれの生徒に合わせてきめ細やかな指導をしています。

思考力・判断力・表現力

「基礎・基本」の定着を促進するためにも、学んだ知識を活用させる機会を作っています。課題について考え（思考）、どうすればいいかを判断し、それを発表したり説明（表現）する力を養います。

主体的に取り組む態度

勉強は「勉めることを強いる」と書きますが、誰かに強制されてやるのでは、「真の学力」は身につきません。自ら進んで取り組めるように、「知的好奇心」をできるだけ刺激するように心掛けています。

コロナ禍でも学びを止めない

横浜隼人では校内全フロアに Wi-Fi を完備し、生徒一人１台の iPad を用意しています。
コロナ禍において「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」が発出されている期間中でも全面オンライン授業や、分散登校のハイブリット授業を実施し、学びを止めないことと感染防止対策の両立を実現しています。

ハイブリット授業の様子　半数の生徒が対面授業、もう半数の生徒は自宅からのリモート授業

基礎学力を確実なものにするために…学力育成プログラム

■ 放課後

放課後の時間は、部活動や委員会活動はもちろんのこと、行事の事前指導や苦手教科の個別指導を行います。また、定期考査２週間前からは、「アシスト補習（試験対策講座）」も行います。

■ 習熟度別授業

英語と数学の授業において、「習熟度別授業」を取り入れることで、生徒一人ひとりの学習状況に合わせたきめ細やかな学習指導を行っています。年に４回の定期考査の後には「習熟度クラス分け」があり、それも生徒の「やる気」につながっています。

■ 朝読書の時間

いつもにぎやかな中学生のフロアーが、シーンと静まりかえるのが「朝読書の時間」です。自分の好きな本を集中して読みながら、授業前の気持ちを整えます。本を読んで「読解力」を磨くことは、全教科の理解に通じる大切なことです。また、お互いに本を紹介し合うようになり、積極的に図書室を利用する生徒が増えています。

■ 漢字コンテスト

年間に数回、放課後に全学年で「漢字コンテスト」を行っています。クラスごとに平均点を競ったり、優秀者として廊下に掲示されることを狙ったり、生徒はみんなそれぞれの目標に向かってコツコツと準備をします。ここでの頑張りは、漢字検定への挑戦や合格率アップにもつながります。

■ 英語コンテスト

英語の表現力を豊かにするためには、「ボキャブラリー」を増やすことがとても重要です。学年ごとに与えられた１５０語ずつの英単語を全て覚え、「全員満点」を目指します。「家庭学習」の充実につながるとともに、数日前から仲間同士で出題し合う姿があちらこちらで見られます。

■ 英語スピーチコンテスト

英語教育に力を入れている本校で、「英語スピーチコンテスト」は伝統行事になっています。企画から司会・進行までをすべて生徒主体で行い、教員はサポートするのみです。１年生はグループでの「レシテーション（暗唱）」で、それぞれのチームが工夫を凝らします。２年生･３年生は「オリジナルスピーチ」で、事前オーディションを行い、本番で優勝を目指します。

■ ハヤト数検

週に１回、数学の授業中に「ハヤト数検」を行います。これは授業の内容の確認テストです。これを定期的に行うことで生徒のつまずきをすぐに発見し、早めのフォローができます。単元ごとに、放課後を利用して単元の基礎補習を行っています。

共に生きる

隼人のキーワードは・・・
「心のグローバル化」

私たちが生きていく上で必要不可欠な存在である「他者」は、性別、国籍、人種、肌の色や目の色、様々なものが異なるものです。その自分と異なる部分を受け入れ尊重し、協調する力が、今後のグローバル化が進む世界には必要となります。本当に必要なのは「心」をグローバルにしていくことなのではないかと私たちは考えています。そこで、横浜隼人中学校では、この「心のグローバル化」を推進するため、さまざまな取り組みや研修を行っています。

1年 校内語学研修

中学１年生では、英語を上手く話すことより、英語を「使おうとする態度」に重きをおきます。まずは、校内で外部の外国人の先生と積極的にコミュニケーションを取る練習をします。何よりも楽しむことを大切に、研修を行います。

2年 国内語学研修

中学２年生では、基本的な英文法を習得しているため、座学から実践への挑戦を行います。英語に浸るため国内における宿泊研修を通して、英語をツールとしてコミュニケーションを取る実践を行います。

3年 海外語学研修

中学３年生では、基本的な英会話ができることを前提に、より「心のグローバル化」を進めるため、カナダへ５泊７日の宿泊研修に挑戦します。日本と異なる環境の中で異文化についての理解も英語を使いながら学んでいきます。

豊富な部活動　※印＝高校から入れます　☆印＝同好会

部活動がとても盛んな横浜隼人。中学生も高校生もほとんどが部活動に参加しています。運動部・文化部、毎日活動も週１回の活動もあるので、ニーズに合ったものを選べます。入学後すぐにある「部活オリエンテーション」で、部活動の楽しいパフォーマンスが見られます。

運動部

- 剣道
- 硬式野球 ※
- 軟式野球
- サッカー
- 女子バスケットボール
- 男子バスケットボール
- 女子卓球
- 男子卓球
- 女子バレーボール
- 男子バレーボール
- 女子野球
- 男子ソフトボール ※
- ソングリーディング
- 女子硬式テニス
- 男子硬式テニス
- ラグビー ※
- 陸上競技
- 水泳
- 空手道 ※
- バドミントン
- 新体操 ☆

文化部

- 演劇
- 華道
- 合唱
- ギター
- 茶道
- 写真
- 情報工学研究
- レクリエーション（隼人ソーラン隊）
- 吹奏楽
- 美術
- 和太鼓
- 囲碁・将棋
- Ｅ．Ｓ．Ｓ．
- 外国語学習 ☆
- 家庭
- 軽音楽 ※
- 新聞
- 鉄道研究
- 文芸
- 理科
- 歴史研究
- 競技かるた
- 漫画研究
- ボランティア ☆
- アカペラ ☆

隼人の3大行事

横浜隼人中学が最も盛り上がる３大行事。クラスや学年の枠を越えて、真剣に楽しみます。

■ 合唱祭

「課題曲」と「自由曲」を、約２ヶ月かけて仕上げます。指揮も伴奏も自分たちでやります。音楽の時間で基礎を学びながら、朝や放課後に力を合わせてひたすら練習します。表彰式では、仲間と頑張れた達成感と、もっとできたという悔しさが混ざりあって涙があふれてきます。

■ 隼輝祭

みんなで話し合い、アイデアを集めて、クラスごとの企画に取り組みます。高校生とも一緒になって、学校中が活気に満ちあふれます。準備の２日間を含めて、ずっと思い出に残るような「心の交流」が生まれます。

■ スポーツフェスティバル

中学１年生から３年生までが一つになって、サッカーやドッジボール、大縄跳びなどさまざまな競技に取り組みます。体力だけでなく知力が必要な競技もあり、チームワークが試されます。

身体と心の健康

黒姫高原宿泊研修

中学１年生の５月。自然が豊かな黒姫高原で３泊４日の宿泊研修を実施します。
ルールやマナーを守ることや、仲間と協力して課題を解決することの大切さを学びます。
また、食事の度に「食育講座」があり、身体と脳に必要な栄養の摂り方を学びます。
名物の「８時間ロングハイク」では、 励まし合いながら「体力と気力」の限界に挑戦します。

「身体の健康」と「心の健康」のために

隼人システム手帳

毎日を充実させるためには、計画性やスケジュール管理が必要です。全員に配布される「隼人システム手帳」を活用して、生徒たちは日々の生活を振り返り、次の日に繋げています。

ランチコミュニケーション

昼休みにはそれぞれ机を寄せ合ってお弁当を食べます。
担任以外の先生たちも、教室に行って「ランチコミュニケーション」をします。午前中に注文すれば、食堂から弁当などをデリバリーしてもらうこともできます。

サイバー犯罪防止講演会

１年生対象に、携帯電話やインターネットを通じて行われる犯罪の恐ろしさや、ネットいじめの現状などについて、具体例を挙げて講演してもらいます。身近な携帯電話やインターネットとのつきあい方について、真剣に考える機会になります。

防災・減災教室

２年生全員で、震災などの際、地域の一員として行動するために必要な知識を学びます。防災センターにおいて、実際に救助法や消火訓練などを行います。「体験」してみることを通して、防災について考える機会になっています。

救急救命講習

３年生になると、消防署の方々を招いて救急救命の大切さを学びます。映像で救急救命の流れを学んだ後は、数人の班に分かれて実地訓練を行います。心臓マッサージや人工呼吸、ＡＥＤの取り扱い方を学んだ後に、「普通救命講習修了証」を受け取ります。

スクールカウンセラー

誰にでも悩む時が必ずあります。そして、自分だけで解決することが難しい時、「スクールカウンセラー」が親身になって相談に乗ってくれます。相談室には保護者も生徒も気軽に利用できる優しい雰囲気があります。

教科・進学・制服

日々の学習から未来

～５教科の担当教員より～

国語

人は「言葉」を通して先人の教えを身に付けます。また、私たちが自問自答する時には「言葉」を使います。さらに、他者とコミュニケーションするときにも「言葉」は大切な道具になります。

相手が伝えたいことを正確に理解し、自分が伝えたいことを正確に伝えるためにも、国語の力が不可欠です。国語の授業では、「話す・聞く・読む・書く」力をさまざまな言語活動を通じて、じっくりと育てていきます。

話し合いや発表などが多くあり、楽しみながら「国語力」が身につけられます。

理科

理科は自分たちの取り巻いている自然環境を理解するために学ぶものです。もし理科がなければ、自然環境と調和して生きていくことはできません。焼畑農業や中国のPM2.5問題は、残念ながら、理科に対する知識や配慮が欠落している人々が起こしているものです。道具や文明を手に入れても、そのベースとなる理科の知識がなければ脅威となります。また、理科は他の教科と異なり、人間がルールを作ったものではなく、自然法則を人間が理解しようとして発展してきている分野です。故にわからないことだらけです。例えば、新しい薬をつくり、化学式がわかっていたとしても、人体にどういう影響があるのかは、実験しなければわからないといった状況です。理科は自然環境を理解して生きていくために学ぶものです。

数学

中学校の数学の授業では、小学校までの算数で行った基礎的な計算などに加え、物事の「本質」を的確に捉え、それを数学的に考え、表現することを行います。数学的思考というのは、いわば物事の「本質」を根本的に理解しようとすることに等しいのです。そのような理解に取り組む中で、仲間と話し合い切磋琢磨しながら数学力を高めていきます。ただただ先生方の言う公式を暗記するようなものは本当の数学とはいえないのです。したがって、数学の授業では主体的に自ら考え、表現していくことに多くの時間を使います。考えることの楽しさ、大切さを実感できるような授業を展開していきます。

社会

生徒たちが「グローバル社会」の中で、たくましく生きられるような「広い視野」を身につけさせるとともに、「社会への関心」を高められるように努めています。教科書を丸暗記するような学習ではなく、「地理・歴史・公民」を学ぶことを通して、気づいたことや考えたことをお互いに交流することを大切にします。

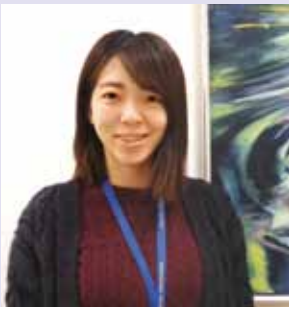
また、資料や関連情報を集め、分析し、それをまとめたりプレゼンテーションをしながら、「情報活用力」を伸ばすように工夫しています。

英語

英語は私たちと世界をつなぐ「コミュニケーション・ツール」です。まず、英語に興味を持ち、楽しく学んでいけるように工夫をしています。週の授業時間が６時間と多く、毎週ネイティブスピーカーによる「英会話」の授業もあります。

「英検」にも力を入れていて、合格に向けての「対策講座」を実施しています。

また、学校行事の「スピーチコンテスト」で、英語表現力をさらに磨きます。学年ごとの校内・国内・海外研修やiPadを使ったオンライン英会話を通して、英語活用の「実践力」を向上させます。



授業の様子は
p16の「１日の流れ」で
見ることができます！

へつながる…横浜隼人高校へ

横浜隼人高等学校

	1年	2年	3年
普通科	特別選抜コース	文系特別選抜 理系特別選抜	文系特別選抜 理系特別選抜
普通科	特 進 コ ー ス	文 系 特 進 理 系 特 進	文 系 特 進 理 系 特 進
普通科	進 学 コ ー ス	文 系 進 学 理 系 進 学	文 系 進 学 理 系 進 学
国際語科	文　　系	文　　系	文　　系

＊習熟度別授業を英語・数学を中心に実施します。（進学コースは２年次より）
＊学年進級の際、進路・学力の状況を考慮しコース移動が可能です。

内部進学生の合格実績

■2022年度入試　大学合格実績　2022年4月6日現在

大学名	合格数
東京工業大学	1
川崎市立看護大学	1
横浜市立大学	1
札幌国際大学	1
埼玉医科大学	1
城西大学	1
文京学院大学	1
目白大学	2
神田外語大学	2
帝京平成大学	3
麗澤大学	1
青山学院大学	2
亜細亜大学	1
桜美林大学	4
大妻女子大学	1

大学名	合格数
共立女子大学	2
國學院大学	1
国士舘大学	2
駒澤大学	4
芝浦工業大学	1
昭和女子大学	1
聖心女子大学	1
専修大学	2
創価大学	3
大正大学	1
拓殖大学	2
多摩大学	1
玉川大学	4
帝京大学	4
東海大学	11

大学名	合格数
東京医科大学	2
東京経済大学	1
東京電機大学	2
東京理科大学	2
東洋大学	4
日本大学	5
日本赤十字看護大学	1
日本体育大学	1
法政大学	5
武蔵大学	1
東京都市大学	5
明治大学	5
明治学院大学	1
立教大学	2
和光大学	1

大学名	合格数
麻布大学	3
神奈川大学	8
神奈川工科大学	9
鎌倉女子大学	1
関東学院大学	2
相模女子大学	3
鶴見大学	1
東京工芸大学	1
松蔭大学	1
日本映画大学	1
湘南医療大学	1
防衛医科大学校	1

卒業生数 65 名、大学合格ののべ数 133 名

制服

夏　服

冬　服

コート

※コートは任意による販売となります。

横浜隼人中学校の１日
年間スケジュール

横浜隼人

登　校

スクールバス（中学生専用）も運行しています。

朝読書　8:20

授業前の 10 分間、読書に集中することで心を落ち着かせます。

午前の授業　8:40

８時 40 分から、50 分授業を 4 時限行います。充実した一日がスタートします。

昼　食　12:30

月曜から金曜は教室でランチをとります。学食に注文すると教室まで運んでもらえます。

年間スケジュ

4月 入学式

7月 8月 地域公開教室

10月

4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
●入学式 ●始業式 ●新入生オリエンテーション ●実力テスト ●保護者懇談会	●宿泊研修（1 年） ●防災減災教室（2年） ●救急救命講習（3年） ●保護者会総会 ●三者面談	●学園創立記念日 ●避難訓練 ●前期中間テスト ●芸術鑑賞	●実力テスト ●夏期講習 ●地域公開教室	●地域公開教室 ●オープンキャンパス ●夏期講習 ●海外短期留学（希望者）	●前期期末テスト ●生徒総会 ●隼輝祭（文化祭）

5月 宿泊研修

6月 芸術鑑賞

9月 隼輝祭（文化祭）

動画で横浜隼人を体験♪
・1日の流れ　・年間スケジュール

の一日

午後の授業　13:10

40分の昼休みの後、2時限の授業です。火・木・金は、14時40分、月・水は15時に終了します。

放課後　15:35

生徒の理解度に合わせて補習を実施します。また、コンテストや検定の学習も行います。

部活動

部活の種類が豊富で、中学生の約9割が参加しています。勉強と部活動の両立が隼人のモットーです。

下校　17:30

前期（夏時間）は、17時30分、後期（冬時間）は17時が下校時間です。

ール（予定）

カナダ研修

10月 スポーツフェスティバル

11月 英語スピーチコンテスト

10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
●前後期引継式 ●校内語学研修（1年） ●国内語学研修（2年） ●カナダ研修（3年） ●スポーツフェスティバル	●英語スピーチコンテスト	●後期中間テスト ●三者面談	●実力テスト	●中学入試 ●高校入試 ●生徒総会 ●合唱祭	●後期期末テスト ●卒業式 ●終業式

10月 校内語学研修

2月 合唱祭

3月 卒業式

高校 普 通 科

一人ひとりの可能性に応えて

進学コース

個性を活かした進路実現

ほとんどの生徒は四年制の大学への進学を希望しているため、１年次のカリキュラムは特別選抜コース･特進コースと共通です。また、大学進学はもちろん、医療・看護、調理・製菓、美容などの短期大学や専門学校、警察や消防などの公務員など、希望や個性に応じたさまざまな進路へと対応しています。進級時には成績によりコース移動もできるため、日々計画的に学習に取り組む生徒が多く見られます。

２年次から文系と理系に分かれ、３年次にはニーズに応じた幅広い選択科目が用意されています。

四年制大学の合格実績においても、一般入試で多数の生徒が合格しており、近年さらに伸びてきています。また、学校推薦型選抜や総合型選抜を希望する生徒に対しても、きめ細かな指導をおこなっています。

特進コース

難関私立大学への現役合格

主に難関私立大学や３教科型の国公立大学への一般入試での現役合格をめざしているため、定期試験だけでなく、大学入試で高得点がとれることを常に意識し、英語・数学は１年次から習熟度別授業を取り入れています。２年次から文系は英・国・社、理系は英・数・理に教科を絞り込み、より効率的に力を伸ばす工夫をしています。

進級時のコース移動や、試験後の習熟度別クラスの移動はプレッシャーにもなりますが、日々の学習意欲へのよい刺激となっています。また、実力試験や常用漢字テスト・英単語テストなどでは、特別選抜コースをライバルとし、高い意識をもってクラス全体で取り組んでいます。

特別選抜コース

国公立大学への現役合格

国公立大学合格という目標を全員で共有し、互いに切磋琢磨しながら目標達成をめざすコースです。入学直後に「新入生合宿」を行い、卒業生や先輩からさまざまなアドバイスを受けることで、学習意識を高めるとともに、勉強と部活動との両立のコツなどが学べます。１年次から英語･数学で「習熟度別授業」を導入するなど、効果的な学習指導を行うとともに、自ら前向きに取り組む姿勢を育てます。また、２、３年に進級する際の、他コースとの入れ替えが各試験への緊張感を高めており、日々の家庭学習の習慣につながっています。

５教科（６教科）型の共通テスト対策だけでなく、３年次には国公立大学の二次試験対策を行うなど、基礎だけでなく応用力を伸ばすための授業展開を工夫しています。

普通科	高校１年	高校２年	高校３年
	特別選抜コース	文系特別選抜 理系特別選抜	文系特別選抜 理系特別選抜
	特 進 コ ー ス	文 系 特 進 理 系 特 進	文 系 特 進 理 系 特 進
	進 学 コ ー ス	文 系 進 学 理 系 進 学	文 系 進 学 理 系 進 学

＊習熟度別授業を英語・数学を中心に実施します。（進学コースは２年次より）
＊学年進級の際、進路・学力の状況を考慮しコース移動が可能です。

◆ 進学コース　◆ 特進コース

※＝選択科目

	1年次		2年次 文系		2年次 理系		3年次 文系		3年次 理系	
1	国語総合	5	現代文Ｂ	4	現代文Ａ	3	現代文Ｂ	4	※理系国語 応用数学Ⅰ(2) ＋応用数学Ⅱ(2) 化学特講	4
2					現代社会	2				
3										
4										
5			古典Ｂ	4	数学Ⅱ	4	※探究国語 文系数学	4	※公民特講 芸術特講 英語特講	2
6	世界史Ａ	2								
7										
8	地理Ａ	2							※ 数学Ⅲ 応用数学Ａ(3) ＋応用数学Ｂ(3)	6
9										
10			※世界史Ｂ 日本史Ｂ	4	数学Ｂ	2	※論述国語 探究古典	2		
11	数学Ⅰ	3								
12					化学基礎(前期) 化学(後期)	5	※探究世界史 探究日本史 探究政治経済	6		
13	数学Ａ	2	現代社会	2						
14										
15	物理基礎	2	数学Ⅱ	3					※探究物理 探究化学 探究生物	6
16										
17	生物基礎	2			※物理 生物	3	体育	3		
18			化学基礎	2						
19	体育	2								
20			体育	2	体育	2	※芸術特講 英語特講	2	体育	3
21	保健	1								
22	※音楽Ⅰ 美術Ⅰ	2	保健	1	保健	1				
23										
24	コミュニケーション 英語Ⅰ	3	コミュニケーション 英語Ⅱ	4	コミュニケーション 英語Ⅱ	4	コミュニケーション 英語Ⅲ	4	コミュニケーション 英語Ⅲ	4
25										
26										
27	英語表現Ⅰ	3								
28			英語表現Ⅱ	2	英語表現Ⅱ	2	英語表現Ⅱ	3	英語表現Ⅱ	3
29										
30	社会と情報	2	家庭基礎	2	家庭基礎	2	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1
31			総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	ホームルーム	1	ホームルーム	1
32	総合的な探究の時間	1	ホームルーム	1	ホームルーム	1				
33	ホームルーム	1								

（　）内は単位数

◆ 特別選抜コース

※＝選択科目

	1年次		2年次 文系		2年次 理系		3年次 文系		3年次 理系	
1	国語総合	5	現代文Ｂ	3	現代文Ａ	2	現代文Ｂ	3	理系国語	4
2					古典Ａ	2				
3										
4										
5			古典Ｂ	3	現代社会	2	探究古典	3	公民特講	4
6	世界史Ａ	2								
7										
8	地理Ａ	2	※世界史Ｂ 日本史Ｂ	4	数学Ⅱ	4	※探究世界史 探究日本史	4		
9										
10										
11	数学Ⅰ	3								
12			現代社会	2	数学Ｂ	2	公民特講	4	数学Ⅲ	6
13	数学Ａ	2								
14										
15	物理基礎	2	数学Ⅱ	4	化学基礎(前期) 化学(後期)	5				
16										
17	生物基礎	2	数学Ｂ	2			文系数学	4	※探究物理 探究生物	4
18					※物理 生物	3				
19	体育	2	化学基礎	2						
20							文系理科	4	探究化学	4
21	保健	1	体育	2	体育	2				
22	※音楽Ⅰ 美術Ⅰ	2								
23			保健	1	保健	1				
24	コミュニケーション 英語Ⅰ	3	コミュニケーション 英語Ⅱ	4	コミュニケーション 英語Ⅱ	4	体育	3	体育	3
25										
26							コミュニケーション 英語Ⅲ	3	コミュニケーション 英語Ⅲ	3
27	英語表現Ⅰ	3								
28			英語表現Ⅱ	2	英語表現Ⅱ	2	英語表現Ⅱ	2	英語表現Ⅱ	2
29										
30	社会と情報	2	家庭基礎	2	家庭基礎	2	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1
31										
32	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	ホームルーム	1	ホームルーム	1
33	ホームルーム	1	ホームルーム	1	ホームルーム	1				

■2022年度入試　大学合格実績

2022年4月6日現在

	大学名	合計	普通科	国際語科	R3
国公立	北海道大学	1	1	0	0
	東京工業大学	1	1	0	0
	一橋大学	1	1	0	0
	東京外国語大学	2	1	1	1
	東京都立大学	4	4	0	1
	横浜国立大学	6	6	0	0
	大阪大学	1	1	0	0
	横浜市立大学	7	6	1	10
	その他の国公立大	33	32	1	15
小計		56	53	3	27
早慶上理	早稲田大学	10	8	2	2
	慶應義塾大学	2	2	0	3
	上智大学	7	5	2	1
	東京理科大学	11	11	0	12
小計		30	26	4	18
GMARCH	学習院大学	13	13	0	4
	明治大学	42	37	5	18
	青山学院大学	37	32	5	17
	立教大学	16	13	3	11
	中央大学	27	19	8	22
	法政大学	45	39	6	17
小計		180	153	27	89
成成明学獨國武	成蹊大学	9	8	1	8
	成城大学	13	7	6	8
	明治学院大学	35	22	13	26
	獨協大学	3	3	0	0
	國學院大学	17	13	4	5
	武蔵大学	5	4	1	3
小計		82	57	25	50
日東駒専	日本大学	57	52	5	49
	東洋大学	70	55	15	32
	駒澤大学	23	17	6	14
	専修大学	61	47	14	32
小計		211	171	40	127
他私大	神奈川大学	105	88	17	60
	東海大学	77	67	10	24
	関東学院大学	41	30	11	20
	芝浦工業大学	11	11	0	10
	東京都市大学	30	29	1	9
	東京工科大学	12	10	2	14
	東京農業大学	19	13	6	20
	帝京大学	24	19	5	15
	桜美林大学	23	17	6	14
	産業能率大学	11	8	3	13
	昭和女子大学	12	6	6	14
	その他の私立大学	441	352	89	277
小計		806	650	156	490

	合計	普通科	国際語科	R3
のべ大学合格者数	1365	1110	255	801
卒業生数	684	540	144	433

【過去５年間（２０１８～２０２２年度）の主な大学の合格者人数】

◆国公立大学　東京大学１名、東京工業大学７名、一橋大学２名、北海道大学２名、大阪大学１名、横浜国立大学２３名、横浜市立大学３４名、東京都立大学１３名

◆私立大学　早稲田大学４７名、慶應義塾大学１８名、上智大学２８名、東京理科大学５８名、学習院大学４１名、明治大学１５２名、青山学院大学１６４名、立教大学７６名、中央大学１４０名、法政大学１６６名

高校 国際語科

・ネイティブの先生とのインタラクション
・英語スピーチコンテスト　・カナダ語学研修
・短期留学制度　・長期留学制度

異文化との出会い

国際語科の２本の柱

国際語科（International Language Course: ILC）は２つの目標を掲げた学習活動を行っています。

１つ目は世界共通語である英語の運用能力「イングリッシュ・プロフィシェンシー」(English Proficiency) を身につけることです。２つ目は世界に向けた広い視野「グローバル・リテラシー」(Global Literacy) を養うことです。将来、日本の中だけでなく世界で活躍する人材となるためにもこの２つの力は重要だと ILC は考えます。

イングリッシュ・プロフィシェンシー

英語は「学ぶ」ものではなく「使う」もの。自分の意思を他者に伝えるためにある言語ならば、運用能力こそが大事だと ILC は考えます。そのために ILC は独自のカリキュラムを設定し、世界で英語を活かせるように英語資格取得に向けた学習を進めています。世界に自己を発信できる人。ILC はそういう生徒を育てています。

グローバル・リテラシー

世界には多様な価値観が満ちあふれています。その中で生きていく力をつけていくためには、時には教室を飛び出して、実際に見たり体験したりすることこそが大事だとILCは考えます。世界にあふれる価値観を受け入れ、自分ならではの生き方ができる人。ILCはそういう生徒を育てています。

国際語科

※＝選択科目

	1年次		2年次		3年次	
1	国語総合	5	現代文Ｂ	4	現代文Ｂ	3
2						
3						
4					※論述国語 探究古典	2
5			古典Ｂ	4		
6	世界史Ａ	2			※探究国語 EFL（2）＋ TOEIC 特講（2）	4
7						
8	地理Ａ	2				
9			※ 世界史Ｂ 日本史Ｂ	4		
10	数学Ⅰ	3			※探究世界史 探究日本史 探究政治経済	6
11						
12						
13	科学と人間生活	2	現代社会	2		
14						
15	生物基礎	2	体育	2		
16					体育	3
17	体育	2	保健	1		
18			家庭基礎	2		
19	保健	1				
20	※音楽Ⅰ 美術Ⅰ	2	総合英語	4	英語理解	4
21						
22	コミュニケーション 英語Ⅰ	3				
23						
24			コンプリヘンシブ・ リーディング	2	英語表現	4
25	英語表現Ⅰ	3				
26						
27			ＥＦＬ	3	時事英語	2
28	社会と情報	2				
29			ＴＯＥＩＣ特講	2	総合的な探究の時間	1
30	ＥＦＬ	2			ホームルーム	1
31						
32	総合的な探究の時間	1	異文化理解	2		
33	ホームルーム	1	総合的な探究の時間	1		
34			ホームルーム	1		

（　）内は単位数

2022 年度入試 国際語科　大学合格実績

2022年4月6日現在

四年制　大学名	人数	推薦 総合型選抜
東京外国語大学	1	1
神奈川県立保健福祉大学	1	1
横浜市立大学	1	1
国際医療福祉大学	1	0
東京国際大学	1	1
文教大学	1(1)	1
文京学院大学	2	0
東都大学	1	0
神田外語大学	4(2)	2
帝京平成大学	1	0
東洋学園大学	1	0
麗澤大学	1(1)	0
青山学院大学	5	3
亜細亜大学	1	0
桜美林大学	6	1
大妻女子大学	1	1
共立女子大学	4(2)	2
恵泉女学園大学	1	0
國學院大学	4	3
国士舘大学	2	0
駒澤大学	6	0
実践女子大学	1	0
順天堂大学	1	0
上智大学	2	2
昭和女子大学	6	2
成蹊大学	1	1
成城大学	6	5
聖心女子大学	2(1)	1
清泉女子大学	3	3
聖路加国際大学	1	1
専修大学	14(1)	2
大正大学	1 (1)	0
大東文化大学	1	0
拓殖大学	5	0
多摩大学	6(1)	0
玉川大学	5(2)	4
中央大学	8	3

四年制　大学名	人数	推薦 総合型選抜
津田塾大学	2	0
帝京大学	5 (2)	3
東海大学	10(1)	1
東京経済大学	1 (1)	0
東京工科大学	2	0
東京女子大学	2	0
東京農業大学	6	0
東洋大学	15(1)	4
日本大学	5	1
日本文化大学	1	1
法政大学	6	3
武蔵大学	1	1
東京都市大学	1	0
武蔵野大学	3	1
明治大学	5	0
明治学院大学	13	10
立教大学	3	2
和光大学	1	0
早稲田大学	2	0
麻布大学	1	0
神奈川大学	17(1)	3
鎌倉女子大学	2 (1)	1
関東学院大学	11(1)	2
相模女子大学	2 (1)	0
産業能率大学	3	0
洗足学園音楽大学	1	1
東洋英和女学院大学	7	3
フェリス女学院大学	3	2
松蔭大学	3 (1)	0
横浜美術大学	1	1
湘南鎌倉医療大学	1	0
帝京科学大学	2	0
名古屋外国語大学	1	1
近畿大学	1	0
立命館アジア太平洋大学	6	5
合計	255 (22)	87

（　）は横浜隼人中学出身者の数

ネイティブの先生とのインタラクション

国際語科には、６人のネイティブ講師がいます。授業ではＥＦＬ、時事英語などの専門科目を担当していますが、プレゼンテーション、パラグラフライティング、ディベートなどを行い、実際に活用できる英語を身につけることを目標としています。

１、２年次には週に１度、朝のホームルームを英語で行ったり、放課後は課題や課外活動の準備などをマンツーマンで手伝ったり、日常の学校生活の中で自然に英語に親しめる環境を提供しています。これにより英語のコミュニケーション能力は知らないうちに身についていきます。

国際的な視野を広げる校外・校内活動

English Festival

近隣の小学校の全校生徒と共同で行った「一日英語村」のプログラムです。生徒が店員となって「お店屋さんごっこ」などを行い、児童と英語で交流します。

日本文化学習プログラム

京都の茶苑とオンラインで繋ぎ、日本茶の収穫から飲み方まで英語で学び、実際に様々なお茶の試飲も行います。

異文化交流プログラム

留学団体の主催により、20カ国にわたる留学生と交流を行い、その国にまつわる社会問題について考えます。

英語スピーチコンテスト

外部の審査員を招いて行われるこのコンテストは社会情勢から部活動まで幅広い話題を取り上げ、英語で発表するコンテストです。ネイティブの先生も一から丁寧に指導してスピーチを作り上げます。当日は ILC 生徒も審査員として全員が加わり、優勝を目指して毎年ハイレベルなスピーチが繰り広げられます。

留　学

長期留学制度…1 年間プログラム

高校2年次9月から高校3年次6月までの10ヶ月間、カナダにある公立の提携校に留学します。現地校で取得した単位は横浜隼人の単位として認定されます。この約1年間の留学で英語力を伸ばし、TOEIC や英検などの資格試験をクリアして大学進学は AO 入試などで臨む生徒が多数です。選考は筆記･面接･成績などで行います。

短期留学制度…3ヶ月プログラム

2012年度にスタートしたプログラムです。

1･2年次の10月～12月に行う、短期間の留学です。留学先はカナダ西部の学区内にある高校です。カナダの大自然に囲まれて、英語習得および異文化体験をします。

選考は成績面･生活面･健康面を基に総合的に判断します。

カナダ語学研修

カナダのバンクーバーで行われるこの研修では、カナダ特有の多文化主義 (Multi-Culturalism) を学ぶプログラムです。様々な国にルーツを持つ家庭で約３週間ホームステイをしながら、英語と文化的な価値観の違いを学びます。また「ジャパンフェアー」という催しを行って、日本の文化を発信したり、老人ホームを訪問したりする等海外ボランティアも体験します。

事前学習

ホームルームなどの時間で、カナダの文化・歴史を学び、書道・茶道・武道などの日本の伝統文化を、地域の方々に英語で紹介する「ジャパンフェアー」というイベントの準備をします。

→

現地での活動

現地では少人数のグループに分かれ、カナダ人のグループリーダーがつきます。現地でのアクティビティや学校訪問、ボランティア活動など、実践的な英語活動や体験学習のサポートをしてくれます。

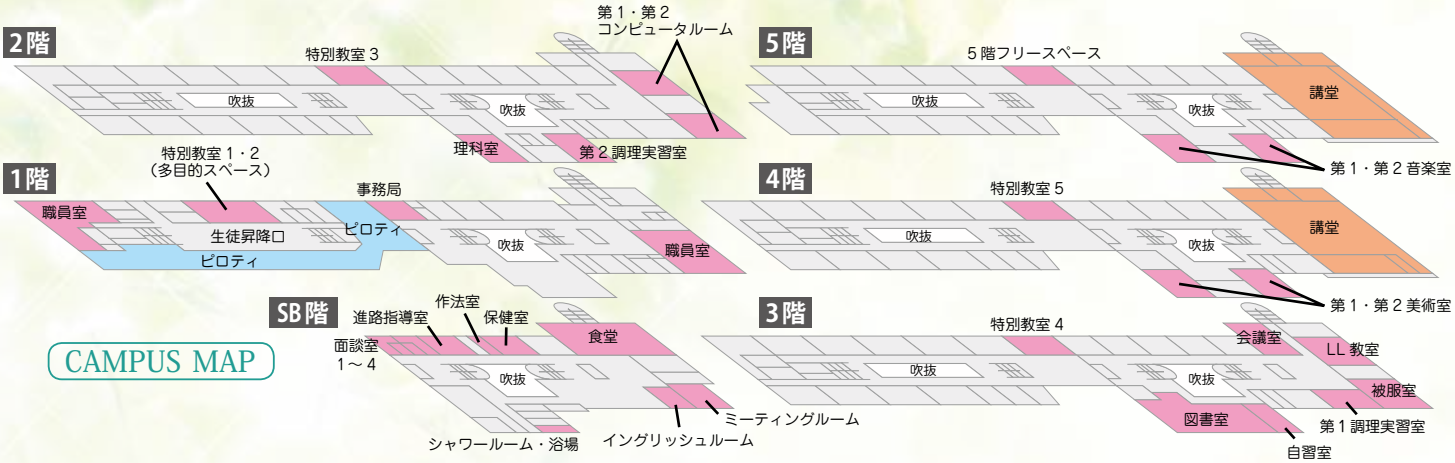
→

帰国後

帰国後は英語力がどれだけ伸びたかを測るために、TOEIC Bridge IP テストを受けます。また、この研修で経験したことをスピーチコンテストや、AO･推薦入試の材料として進路に役立てることも可能です。

施設の紹介・Q&A

遠くに富士山を仰ぐ緑豊かな自然環境の中、敷地面積約 54,000m² に校舎が立ち、ゆとりある学習環境が生徒たちの成長を助けます。また、設備面でも、コンピュータルーム（2つ）や LL 教室、体育館（3つ）など、情報教育施設から各体育施設まで生徒たちに活用されています。



図書館

80 席以上ある机で放課後は多くの生徒が自学自習をしています。コピー機や自由に利用できるパソコンもあり、調べ学習にも適した環境になっています。

コンピュータルーム・LL 教室

2 つのコンピュータルームと LL 教室があり、それぞれに 40 台以上のパソコンがあります。授業だけでなく情報工学研究部もこの教室で行います。

自習室

45 席あり、早朝と放課後に多くの生徒が利用しています。静かに集中して勉強ができると、人気の場所です。

一般教室

新校舎の一般教室です。新校舎には34教室あります。全教室冷暖房完備、24時間換気システムを取り入れています。自分で番号を決められるタイプの鍵がついたロッカーが一人ずつ与えられ、教材等は各自その中に入れて管理します。

特別教室

新校舎にはこのような教室が３部屋あります。もちろん通常の授業でも使われますが、補習や講座、委員会や部活動のミーティング、ディスカッションなどに適した教室設備になっています。

多目的スペース

教室２クラス分の大きさのスペースです。コースや修学旅行の集会、説明会など、中規模の集会に使われます。廊下側の壁は移動が可能で、昇降口とつながるオープンスペースとしても利用が可能です。

食堂

約 450 席あり、多くの生徒が毎日昼食を楽しんでいます。夕方、部活や補習が終わったあとでも開いているので下校する前に利用する生徒も多いです。

5階フリースペース

生徒が自由に使えるスペースです。部活動や委員会活動のちょっとした打ち合わせやミーティング、生徒同士の待ち合わせや自習空間としても使われています。

明るい校内

校舎内は中央に吹き抜けがあり、全面ガラス張りのため各階の様子が見渡せるようになっています。特に階段、トイレには「人感知センサー」が導入されており、節電にも配慮されています。

■ よくある質問 ■

学　習

Q 「英語教育」には、どのような特色がありますか？

A 「英語」の授業は、1年生から3年生まで「週6時間」で最も授業数が多くなっています。また、その中の1時間はネイティブスピーカーによる「英会話」の授業さらに「オンライン英会話」を加え、会話力を強化します。学校行事としても、毎年行われる「英語スピーチコンテスト」だけでなく、1年生では「校内語学研修」、2年生ではブリティッシュヒルズにおける「国内語学研修」、そして3年生ではカナダのバンクーバーでの「カナダ語学研修」というように、「英語を使う」機会にあふれています。

Q 「オンライン英会話」って何ですか？

A iPad を活用し、1対1で外国人講師と英会話をする授業です。講師の先生は、生徒のレベルに合わせて会話をしてくれるので、英語が得意・不得意に関係なく積極的に英語を使う良い機会となります。

Q 「アクティブラーニング」って何ですか？

A 全教科において、「ペアワーク」や「グループ活動」を授業に取り入れ、自分の考えを説明したり発信したりする機会を増やしています。また、ただ活動的なだけでなく、みんなで話し合う前にじっくりと考えたり、話し合った後に一人で振り返ったりする時間を大切にしています。「教師主体の覚える授業」から、「生徒主体の考える授業」へ大幅にシフトしています。

Q テストの回数は多いですか？

A 「学力アップ」のため、試験は多くあります。前期・後期に2回ずつの「定期考査」以外に、年に3回の「実力テスト」があり、それ以外にも「英語コンテスト」（年3回）、「漢字コンテスト」（年4回）があります。そのような全校で取り組むテスト以外にも、週1回の「ハヤト数検」など、各教科での小テストがまめに行われます。

Q 「補習」について教えてください。

A 教科ごとに必要に応じて補習を行っています。「英検」などの検定合格のためのサポートはもちろん、「定期試験」の前には「アシスト補習（試験対策講座）」も行います。テストで悪い点数を取ってから呼び出し補習をするのではなく、テストの前に補習をして本番で「達成感」を持たせ、次のテストへ繋げることが「横浜隼人」の考え方です。

Q 大学への「指定校推薦枠」はありますか？

A 卒業生がとても優秀な大学合格実績を出しているため、横浜市立大学や明治大学など、数多くの大学から指定校推薦枠（約８００名分）をいただいています。ただ、指定校へ推薦入試で進学するよりも、国公立大学や難関私立大学へ一般入試で挑戦することを選ぶ生徒が圧倒的に多数を占めています。

生　活

Q 基本的な「一日の流れ」を教えてください。

A 始業時間は一年を通して8時 20 分です。10 分間の朝読書で心を落ち着けた後、朝のホームルームを行い、8時 40 分から授業が始まります。平日は6時限授業で、土曜日は4時限授業です。（第1・3・5土曜日が授業日です）放課後の最終下校時刻は、夏季が5時 30 分、冬季が5時になっています。（中学生）

Q 昼食は弁当ですか？　食堂は使えますか？

A 原則、自宅から弁当を持参することになっていますが、食堂に昼食を注文しておくと教室までデリバリーしてくれます。食堂は放課後や土曜日の午後、自由に利用できます。 また、昼休みには手作りパン屋さんが販売に来てくれ、とても人気があります。

Q スクールバスは、ありますか？

A 最寄りの希望ヶ丘駅を利用する高校生は 1,000 名を超えます。そのため朝の通学時間帯のみ、中学生専用のスクールバスを「希望ヶ丘～正門」で運行しています。5～ 10 分おきに出発するためとても便利です。また、「弥生台・緑園都市」方面の「中学生専用巡回バス」もあるため、朝はゆとりをもって通学できます。

ホームページに、その他の Q&A が掲載されています。ご質問がございましたら、お電話または、次のアドレスまでメールでお問い合わせください。

電話番号　０４５－３６４－５１０１
お問い合わせメールアドレス　yhjh.quest@hayato.ed.jp

学校説明会

①１１月５日（土）１４：００
　＜出題傾向・解法の手引き＞
②１２月３日（土）１４：００
　＜入試体験プレテスト・保護者Ｑ＆Ａ＞
③１月１４日（土）　９：３０
　＜初めての参加者向け・①②の要約版＞

ミニ説明会

・　６月６日（月）１０：００
・　７月６日（水）１０：００
・　９月６日（火）１０：００
・１０月６日（木）１０：００

個別学校見学会

・平日１０時と１４時の各回１組限定
※４月下旬開始予定
（毎月末に翌月分の受付を開始します）

バーチャル学校見学会

オープンキャンパス

■ 開催日
・８月２０日（土）

隼輝祭

■ 開催日
・１０月１日（土）・２日（日）

※隼輝祭は予約不要。
それ以外のイベントは
全て学校ホームページから
事前予約制となります。

HAYATO
YOKOHAMA

Web 学校説明会

Hayato movie gallery

感染症予防対策の関係で、すべての行事に変更が出る可能性があります。
必ずホームページでご確認の上、ご参加ください。

学校法人 大谷学園
横浜隼人中学校
〒246-0026 横浜市瀬谷区阿久和南1丁目3番地1
TEL . 045(364)5101(代) FAX . 045(366)5424
http://www.hayato.ed.jp/